

日ごろの功績を顕彰

文化の日記念式典

日ごろから「ふるさと三好」の発展に貢献していただいた皆さんを顕彰する文化の日記念式典が11月3日、文化祭と合わせてサンアートで開催されました。今年度は地方自治や教育、産業、福祉などのそれぞれの分野から43人、2団体に表彰状や感謝状を贈呈。式の初めに久野知英町長が「皆さんの功績に深く敬意を表します。今後とも本町のさらなる発展のために、ご指導とご協力をお願いします」と感謝の言葉を贈りました。



世界にひとつだけの魅力

手作り絵本展

世界に一つしかない手作りの絵本の楽しさを知ってもらおうと10月28日から11月8日まで、中央図書館で手作り絵本展が開かれました。今年は町内で活動する絵本も「こも」の皆さんの作品をはじめ109点を展示。ユニークな題材や立体的なものなど趣向を凝らした作品が訪れた人を楽しませました。女性の一人は「姉や知り合いが作った絵本を見に来ました。どれも素晴らしい作品ばかりですね」と関心していました。



盤上の熱い戦い

三好町民将棋大会

11月3日に中央公民館で町民将棋大会が開催されました。これは11月2日から6日までの5日間で開かれた三好町文化祭に合わせ、三好町文化協会将棋部の主催で毎年行っているもの。大会には子ども4人、大人19人のアマチュア棋士が集まり、中級〜上級、初段〜2段、3段以上の3つのクラスに分かれて、盤上で熱戦を繰り広げていました。参加した男の子は「まだまだ弱いけど、将棋は見ても指しても面白いです」と笑顔でした。



町と市の違いについて説明

町制と市制に関するアンケート説明会

町では11月1日から15日まで「町制」と「市制」に関する住民アンケートを実施しました。11月7日にはその説明会を役場で開催し、37人が参加。最初に職員がアンケートと同時に配布したパンフレットに沿って説明を行った後、質疑応答を行いました。参加者からは「市制要件を本当に満たしているのか」「生産緑地に指定された市街化区域農地の取り扱いはどうなるのか」などといった質問が出され、職員が説明を行いました。



地域との交流で活動を紹介

第9回あゆみ祭

地域交流を通して施設の活動を知ってもらおうとあゆみ祭が11月5日、しおみの丘で開催されました。式典であゆみ会理事長の鈴木睦子さんが「日ごろより施設へのご理解ご支援をいただき感謝します」とあいさつ。その後、訪れた人は豊富な商品が並んだフリーマーケットや子ども向けのゲームコーナーなども盛りだくさんの内容を満喫していました。女性の一人は「毎年この行事を楽しみにしています」と買い物を楽しんでいました。



各会場で熱戦を展開

三好町体育協会総合体育大会

多くの町民の皆さんに大会参加の機会を提供し、スポーツの普及と体力の増進を図ろうと11月6日から12月4日まで、三好町体育協会総合体育大会が開催されています。11月13日には総合体育館で総合開会式が行われました。原田基實大会長のあいさつと功労者の表彰に続き、協会加盟の19団体を代表して空手道連盟の磯村有希さんが力強く選手宣誓。その後、各競技ごとで試合会場に分かれて、熱い戦いを繰り広げていました。

